

スーパー耐久シリーズ2026参戦体制発表

Birth Racing Project【BRP】(以下、BRP)は2026年スーパー耐久シリーズ2026(以下、S耐)に、今年から新設されたST-USAクラスに フォード マスタング ダークホースRを追加投入してのフル参戦を決定しました。また継続参戦を続けているST-TCRクラスにも引き続きCUPRA TCRで体制を見直し、昨年逃したシリーズチャンピオン獲得に向けてフル参戦致します。BRPとして、2台体制(2台フル参戦)で2026年のS耐に挑みます。

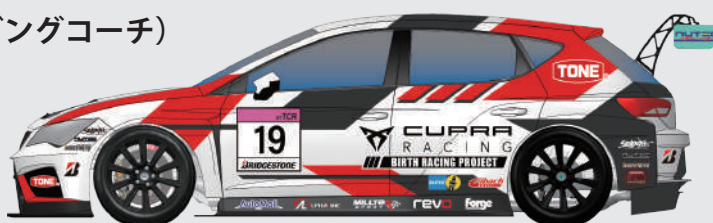
【ST-TCR 19号車】BRP★TONE制動屋NUTEC CUPRA TCR

Aドライバー 近藤 説秀

Bドライバー 末廣 武士 (ドライビングコーチ)

Cドライバー 東風谷 高史

Dドライバー 井本 大雅



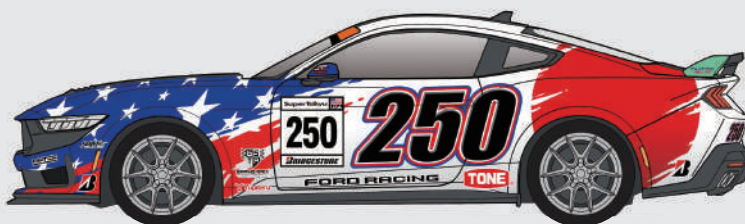
【ST-USA 250号車】BRP★HOJUST MUSTANG DHR

Aドライバー 猪爪 杏奈 (車両開発)

Bドライバー 大野 尊久

Cドライバー 奥村 浩一

Dドライバー 竹本 優月輝



Birth Racing Project【BRP】代表コメント

今年のS耐には、今話題のST-USAクラスにマスタングダークホースRを引き下げて参戦する事を決定しました。またTCRクラスには引き続き昨年シリーズチャンピオン獲得を逃した雪辱を晴らす為に、CUPRAも継続参戦致します。今年も昨年同様の2台体制の大所帯での参戦となりますが良い準備をしっかりと新しいチャレンジに挑んでいきたいと思えます。ドライバーラインナップは「DRIVER DEVELOPMENT」のプロジェクトメンバーより、レーシングカートの実績から新進気鋭の「竹本 優月輝」の起用を決定し、このように若き才能のあるドライバーと、更に日々の並ならぬ努力により確実に力を付けている、いわゆるジェントルマンドライバーも引き続き積極的に起用して、レーシングドライバーへの道を切り開く支援を積極的に行っていきます。ST-USAクラス参戦のマスタングDHRは本国米国でも耐久レースへの実戦投入の経験が無く、国内での運用実績も少ないある意味「未知の車体」となりますので、車両開発ドライバーとして「猪爪 杏奈」を起用して今年1年は車両開発の期間としてじっくり強い戦える車両を育てあげていきます。2台共に異なるコンセプトとアプローチで今年のS耐にチャレンジして、2台共にシリーズチャンピオン獲得を目指してとにかく日々進化・成長を目指して邁進していきますので、皆様の引き続きのご支援・ご声援を何卒よろしくお願い致します。

Birth Racing Project【BRP】代表 奥村 浩一